

# 継体大王 千五百年大祭

福井県内各地にゆかりのある継体大王が即位して今年で千五百年。こしの国の玄関口であり中心部として栄えたといわれる越前市では、10月5日(金)から7日(日)の3日間、こしの都千五百年大祭を開催します。

南越前町にも継体大王のゆかりの地があることからこのイベントに参画します。河野(当時の国府浦)に大陸から使者が着いたとの想定のもと、千五百年前の大陸文化の伝来や、交流を表現しようと、10月5日の出立祭に向け古代舟の再現を進めました。

## 古代舟が完成



▲再現された古代舟は、全長約7.8m、幅1.8m、高さ2m。5日、南越前町を出発し、翌日6日、味真野神社で奉納品を載せ、岡太神社まで地域の人達によって巡行されます。

## 即位千五百年を祝って

町では、安全祈願祭、出立祭をそれぞれ行います。

## 安全祈願祭

再現された古代舟は、出立祭の前に継体大王にゆかりのある羽太神社境内の振媛神社で安全祈願され、河野ふれあいシーサイドパークに向け出発します。

日時 10月5日(金) 午後1時30分～午後2時30分  
場所 東大道字高向 羽太神社境内の振媛神社

## こしの都伝統文化出立祭

国府浦(河野)に使者が着いたと想定し、古浪漫ハレードが始まります。河野のふれあいシーサイドパークでは、出立祭が行われます。

日時 10月5日(金) 午後4時頃

場所 ふれあいシーサイドパーク(今泉)

内容 韓国来訪団来町

ー 韓国来訪団あいさつ(扶余郡郡主)

南越前町長あいさつ

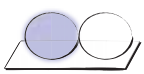
伝統芸能披露(交流)

ー 糠どっこさり・漁火太鼓・韓国芸能

韓国来訪団へ花束贈呈

古代舟(韓国来訪団)見送り

※即位千五百年を祝い、安全祈願祭、出立祭の会場で継体大王即位千五百年を祝つ、紅白餅を配ります。  
皆さんごせび、お越しくわい。



## 継体大王

功績 大陸との交流が上げられます。

この時代、朝鮮半島南西部に位置した百濟から最先端の学問を修めた五経博士段楊爾が派遣されたことなどが、日本書紀に記されています。彼らは船で日本海を渡り、大陸の文化と技術をもたらし、その技術がルーツとなり丹南の地で多くの伝統産業が育まれたとされています。

## 町内のゆかりの地

振媛神社(東大道) 羽太神社の境内社であり、継体大王の母振媛と五番目の王妃閼媛が祀られています。

熊野神社(清水) 越前国名蹟考によると、継体大王が熊野神社に参拝して休まっていた際、あたりでウグイスが良い声で鳴いたことから、この神社を「初音の宮」、またこの地を「鶯ノ関」と名付けられたと言われています。

太娘姫古墳(大良) 南越前町大良地区の西「三まい山」と呼ばれる山頂に方形台状墓があります。これは『越前国名蹟考』や『足羽社記』によると、継体大王の孫娘(閼媛の娘)、太娘皇女の古墳と言われています。

麻氣神社(牧谷) 継体大王の后妃・麻績娘が病氣になった際、薬効がないのを憂い、麻氣神社祭神の奇玉饒速日命に平癒を祈念したところ、病が癒えたので社殿を造営したといわれ、地名の「牧谷」の「麻氣」は、麻績娘女の「麻」と病氣の「氣」から名付けられたと言われています。